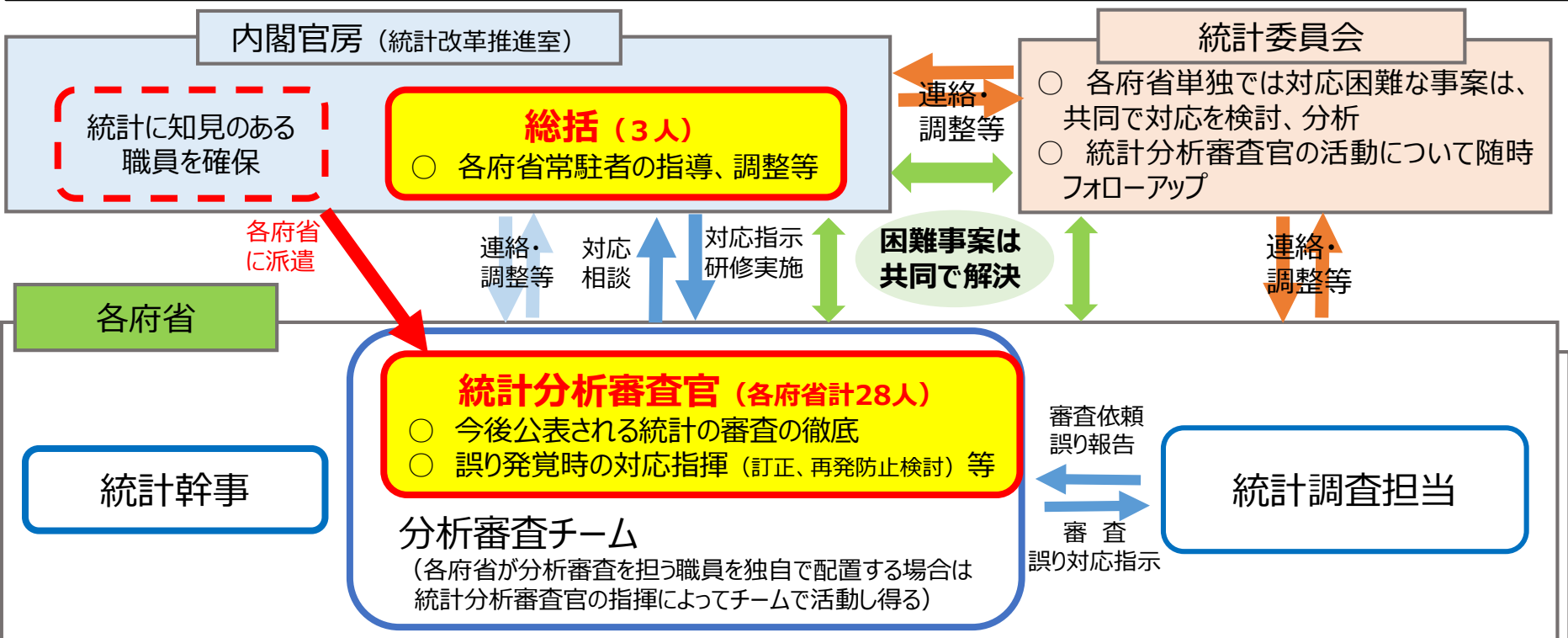


統計分析審査官の活動状況について

令和元年10月3日
内閣官房統計改革推進室

分析審査の体制と業務について（概要）

- 7月26日（金）に、31人の統計分析審査官を内閣官房（統計改革推進室）に増員。各府省に派遣し、①集計結果の公表前の分析審査の導入、②公表済みの統計の点検や誤りの是正、③調査設計変更時の影響分析・補正手段の検討、④誤りが発覚した事案への対応や再発防止策の検討等を実施予定
- 統計分析審査官は、8月に内閣官房が実施した研修を皮切りとして、専門的な研鑽を積むとともに、試行的に分析審査業務に着手。外部の有識者の知見を取り入れる仕組みの構築、誤り発生時の行動指針と、それを踏まえた各府省の対応ルールの策定などが要検討事項。



※ 統計分析審査官は、年々の業務量や突発事案に応じて、機動的に配置換。

分析的審査の導入の流れについて

- 各調査の審査実施状況を把握したところ、基礎的審査やドキュメント整備が適切に行われていないものが確認されたことから、これらの調査については、分析的審査の導入に先立ち、改善に取り組む。
- 分析的審査は、二つの段階（下表）に分けて、基礎的審査等が行われている調査を対象に第一段階の導入を進める。既に第二段階を実施している調査については、優良事例として紹介・横展開を行う。
- 新たな審査事務の付与によるミスが生じないように、デジタル化や現状の業務の入念な精査を行う。

基礎的審査	個票審査：記入漏れチェック、クロスチェック、レンジチェック 集計審査：表内検算、表間照合、時系列審査
分析的審査	第一段階：特別集計によるチェック、業界データ等関連情報を活用したチェック 第二段階：第一段階以外の分析的審査事項

STEP1 調査の実施状況の把握

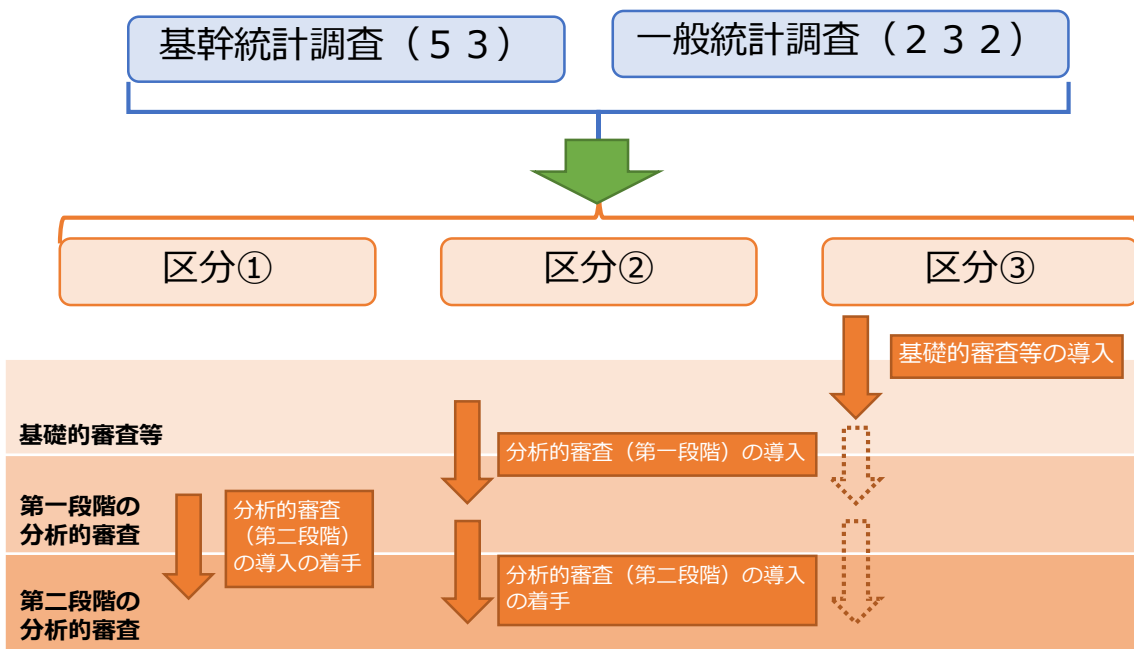
- ・審査実施状況
- ・ドキュメント整備状況
- ・委託先履行確認の実施状況

STEP2 区分への当てはめ（9月）

- 区分③ 基礎的審査、ドキュメント整備、委託先履行確認のいずれかが不十分な調査
- 区分② 基礎的審査、ドキュメント整備、委託先履行確認が全て履行されている調査
- 区分① 区分②の項目と第一段階分析的審査が履行されている調査

STEP3 審査レベルの向上

- 区分③ 基礎的審査導入、ドキュメント整備
- 区分② 分析的審査（第一段階）導入
- 区分① 分析的審査（第二段階）導入着手



※区分①について、基幹統計は全体の約6割、一般統計調査は全体の約2割
 " ② " " 約2割、 " 約2割
 " ③ " " 約2割、 " 約6割

課題

1. 審査を担える人材の育成

分析審査には、各府省の所管行政の知識と、統計技術面・システム面の知識の双方が不可欠。各府省には前者に精通した人材は存在する一方で、後者の知識を併せ持つ人材が不足しており、前者に精通した人材に後者の知識を付与して分析審査官に育成するのが当面現実的。もっとも、分析審査官の異動も考慮すると、研修等による継続的な育成が必要となるが、内閣官房では体系的・継続的な研修の実施が難しい。

2. 小規模調査まで含め、基礎的審査まで行える統計作成システムの実装

基礎的審査が不十分である調査も存在する中、先ずは、基礎的審査までの実施を前提としても、政策部門の小規模な統計ですらその審査に対応した統計作成システムを各々実装することが必要となるが、政策部門のリソースや専門性を踏まえると、そのような対応は、實際上相当難しい状況にある。統計局・統計センターによる支援も小規模調査まで1つ1つ個別に対応することは困難。

3. ミスをフィードバックしミスが発生しにくい統計作成プロセスに転換する取組に向けた当面の対応（審査のみならず、審査から生じた情報を生かして統計作成そのものを見直す取組）

各府省は、統計委員会からも指摘されているとおり、個々のミスの発生原因を分析した上で、それを作業手順や調査設計等にフィードバックし、ミスが発生しにくい統計作成プロセスへと転換を図る必要がある。しかし、先ずは、基礎的審査・分析的審査が的確に行われるようにしている現段階において、ミスの分析・プロセスの転換等を本格的に行うことは困難なのが実情である。このような中、ミスの分析・プロセスの転換等の業務の将来的な本格化に向け、現時点ではどのような対応を行うべきか。